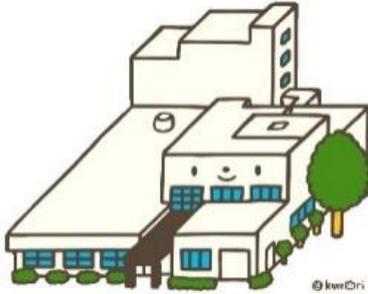


West Library

千葉県立西部図書館だより

2020. 3 72号



Book Review ちょっと気になる新刊図書

「ポルトガル菓子図鑑」他

Library Information

- ・「読書バリアフリー法」施行
- ・イベント、講座案内

特集 図書館音訳者養成講座（初級）開催報告



西部図書館は、将来地域で活動する音訳者を一から養成するため、2年間全24回にわたって講座を開催してきました。この間、音訳指導者や現役の音訳者を講師に招き、音訳に必要な技能や心構えを学びました。

最終回となった11月30日（土）に修了式を迎え、20名が館長から修了証を手渡されました。

【音訳者とは】

視覚障害者等のために本の内容を読んで伝える活動を「音訳」といいます。音訳者は地域の図書館やボランティア団体に所属し、障害のある方と向かい合って直接本を読んだり（対面朗読）、読み上げたものを録音して録音図書を製作したりしています。

音訳は朗読と似ていますが、内容を正確にわかりやすく伝える技能がより求められます。また文章だけでなく絵や写真、グラフを読み解いてその内容を伝えることも大事な役割です。



講座の様子

みんなで発声練習



講師

異体字を伝える



アクセントを意識



機材の使い方



グラフを伝える



緊張の初収録



平成 30 年

7月 説明会を3回開催、
延べ97名参加

8月 アンケートと漢字テストを
もとに選考、
26名の受講決定

9月～ 第1回～第9回開催

平成31年/令和元年

～2月 第10回～第12回開催

2月～ 修了課題として『歴史・時
代小説の快楽』の録音図書
の製作を開始

5月～ 第13回～第24回開催

11月 修了式

【これからの活動】

初級講座を修了してもすぐに完ぺきな音訳ができる訳ではありません。音訳者となってからも研鑽の日々がつづきます。当館ではこれからもスキルアップの場を設けて音訳活動を支えて参ります。

【音訳に興味のある方は】

四街道市にある視覚障害者総合支援センターちば（043-424-2390）では、毎年「音訳ボランティア養成講座」を開催しています。また、各市町村の社会福祉協議会で同様の講座を実施している場合もあります。

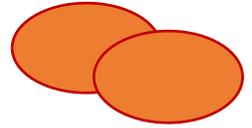
BOOK REVIEW

~ちょっと気になる新刊図書~

『ポルトガル菓子図鑑 お菓子の由来と作り方』

ドゥアルテ智子／著 誠文堂新光社 2019年11月

【請求記号：59665／13】



ユーラシア大陸の最西端に位置するポルトガルは、北東はスペインと国境を接し、南西は大西洋に面しています。1543年、ポルトガル人が種子島に漂着し鉄砲を伝えて以来、キリスト教の布教や南蛮貿易など、日本とのつながりが深い国です。また、グルメの国としても知られており、今日に至るまで多くの人々が美味しくて豊かな料理やスイーツを求めて足を運んでいると言われていています。

本書は、大学時代からポルトガル菓子を追い求め、菓子作りの研鑽を重ねた著者が、修道院がルーツである菓子の歴史と物語を紹介しています。カステラや金平糖、エッグタルトといった私たちになじみのあるものから、あまり知られていないものに至る101種がレシピとともに掲載されており、日本の菓子文化に大きな影響を与えたポルトガル菓子への理解が深まります。

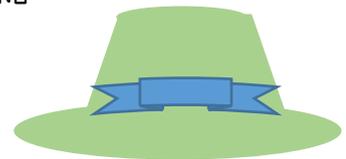


『死を招くファッション 服飾とテクノロジーの危険な関係』

アリソン・マッシュズ・デーヴィッド／著

安部恵子／訳 化学同人 2019年11月

【請求記号：5892／102】



私たちは、日常生活での体の守りを衣類に頼っています。19世紀のフランス人文筆家は、「服とは住居のように人間が外の世界の有害な影響から自分を守るために使う材料」と説明しています。

本書は、ファッションブルな衣類が人体の自然なシルエットを機械的に様変わりさせた19世紀と20世紀前半の欧米諸国が舞台となっています。優雅な人々は、健康よりも身なりを大切にしました。そのため、「細菌や寄生虫が潜んだ衣服」「水銀入りの帽子」「ヒ素入りのグリーンのドレス」などにより身体の痛みや苦しみに苦しめ、時として命を落とす結果となりました。また、ファッションが引き起こす健康被害に関する問題は、現代でも続いていると述べています。

表紙のイラストをはじめ、全章にわたる美しい色や写真と、服飾の歴史的・社会的背景や科学的側面のエピソードとの対比が心に残ります。

Library Information

～図書館からのお知らせ～



「読書バリアフリー法」が施行されました

2019年6月21日の衆議院本会議で可決、成立し、通称「読書バリアフリー法」（「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」）が6月28日に公布、施行されました。

この法律は、障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化を享受することができる社会の実現を目指すもので、視覚障害者等の読書環境の整備について、国や自治体の責務を定めています。また、公立図書館においても、視覚障害者等が利用しやすいよう多様なメディアによる資料（点字・拡大・音声図書、デジタル図書等）の充実と、利用のための支援が行われるよう求めています。

千葉県立図書館の「障害者サービス」の詳細については右のQRコードまたは下記のURLからご覧ください。



<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/guide/handicap/index.html>

来年度のイベント・講座案内

◆サイエンス・カフェ 2020年8月

◆読書支援機器活用講座 2021年1月

<時期や内容は現在の予定です。詳細は決まり次第、チラシ・HP等でご案内します>

編集後記

新型コロナウイルスの感染が広がっています。県立図書館も感染の拡大を防止するため、3月3日から15日までは臨時休館をし、一部のサービスのみ行っています。17日以降のことは今後の状況にもよりますが、一日も早く日常を取り戻し、穏やかな春を迎えられたらと思っています。

West Library 千葉県立西部図書館だより

発行日：令和2年3月10日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 657-7

Tel047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN：0918-7383